

相模原中RC 会報

第2006回例会

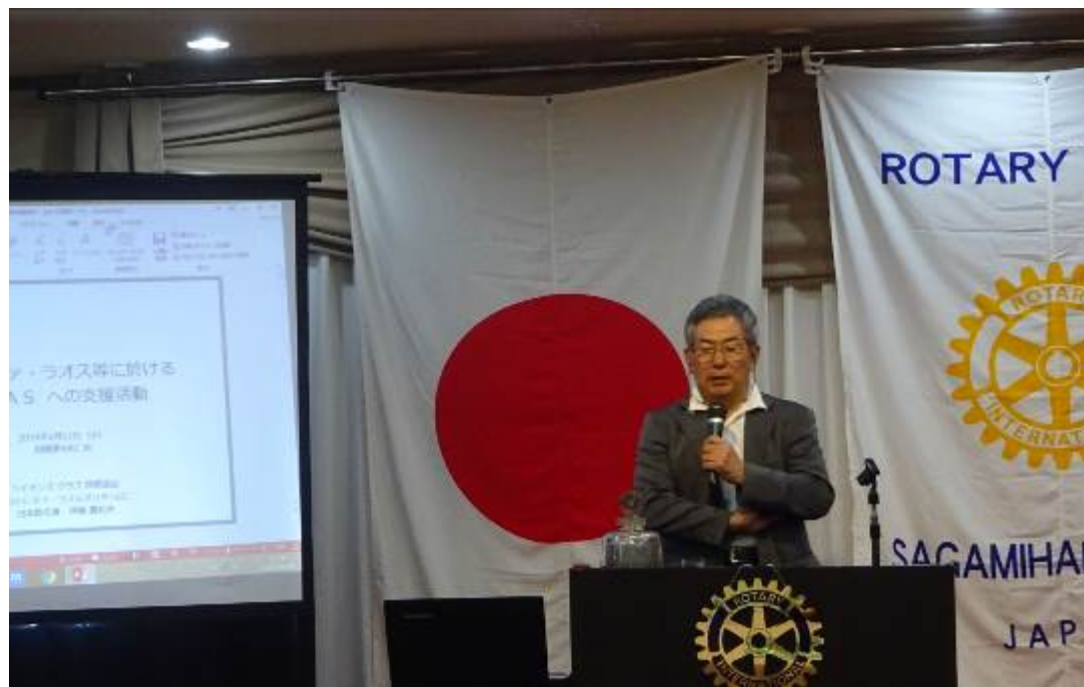
6月11日 No.44

会長 早川 正彦



幹事 佐々木 敏尚

- 友好クラブ
韓国・龍仁ロータリークラブ
国際ロータリー第3600地区
台湾・台中文心ロータリークラブ
国際ロータリー第3461地区
- 姉妹クラブ
千曲川ロータリークラブ
国際ロータリー第2600地区
- 提唱インターアクトクラブ
光明学園相模原高等学校



ゲスト卓話「カンボジアでの地雷撤去について」 (一部、概要にて掲載)

特定非営利活動法人 JMAS 伊藤 農利夫

会社は、(株)相模工業で総合解体業をしております。またライオンズには35歳の時に入会して、44年間在籍しています。本日は仕事の話ではなく、私共の会社が2004年からライオンズとも協力して支援している JMAS (Japan Mine Action Service) 「日本地雷処理を支援する会」の社会貢献活動についてお話をさせていただきます。

お手元に、今年度の活動報告書をお配りしていますが、カンボジアやラオスから地雷や不発弾による悲惨な事故が無くなるよう、支援の輪を拡大しております。

JMASの活動は今年で17年目になり、多くの地雷や不発弾がある地域で、現地の地雷処理

組織と共に活動しています。カンボジアはベトナム戦争(1965~1973年)当時、約275万トン以上の爆弾が投下されたと言われていました。加えて、カンボジア内戦(1970~1991年)により、大量の地雷と不発弾で汚染されてきました。このため長年に亘り、処理が行われてきましたが、いまだに多くの死傷者が出ています。

JMASは、CMAC(カンボジア地雷処理センター)と連携し、処理要員の教育を行い、地雷や不発弾処理能力の向上と処理の促進を図っております。危険を伴い、多額の費用も必要ですが、2025年の解決を目指して、地道ながら着実に進展しています。

では、映像にて現地の紹介をさせていただきます。

<画像紹介>

(一部写真は略にて)



シエムリアップ PG905便



火災学会の参加者



カンボジア アンコール遺跡 アンコールワット



トンレサップ湖の蓮の花



シエムリアップ郊外の状況



対人地雷の被災者(足首を損傷)



対人地雷の被災者(膝関節を損傷)



対人地雷の被災者(膝関節を損傷)



夫が働けないので妻が水汲み



水汲みをする子供達



広い地雷源の草刈作業(赤い看板は地雷の印)



地雷源の草刈作業



探査機による地雷・不発弾探査作業(W1.5m、L0.5m)



探査機による地雷・不発弾の探査作業



探査機による地雷・不発弾の確認作業



探査機による地雷・不発弾の確認作業



発見された対人地雷(中国製地雷)



米国製500ポンド爆弾(JMAS専門官 鈴木、高山両氏)

●藤本 恵介会員

伊藤様、本日は卓話ありがとうございます。宜しくお願ひ致します。

●藤原 利夫会員

①ゲスト卓話の伊藤様、宜しくお願ひします。
②ご夫人誕生日祝の皆様おめでとうございます。

●取住 悦子会員

①6月お祝の皆様、おめでとうございます。
②卓話の伊藤様、お話し楽しみにしています。

●小野 孝会員

①ゲスト卓話の伊藤さん、宜しくお願ひ致します。
②6月ご夫人誕生日祝の皆さん、また結婚記念日祝の櫻内さん、おめでとうございます。

●伊倉 正光会員

①ゲスト卓話の伊藤様、宜しくお願ひ致します。
②本日お祝の会員皆様、おめでとうございます。

本日のスマイル額 19,000円
今年度の累計額 935,600円

会長の時間

本日11日は「国立銀行設立の日」で、1873(明6)年のこの日、日本初の銀行・第一国立銀行(後の第一勧業銀行、現在のみずほ銀行)が設立された事により制定され、国立銀行は、その後5年間で153も発足されました。この名前の由来は、アメリカのNational Bankを直訳したもので国立と付いていますが、国が設立したものではなく、民間により設立された銀行になります。初めての国立銀行の紙幣は、アメリカに製造を依頼したので、アメリカの紙幣に非常に似たものだったそうです。



国立銀行は、全て第〇国立銀行という名前が付いて、ナンバー銀行と呼ばれ、現在も第四銀行、七十七銀行など、そのままの名前の銀行もあります。

また、「傘の日」でもあります。1989年のこの日、「日本洋傘振興協議会(JUPA)」より制定されており、この日が雑節の一つ「入梅」になる事が多いためだそうです。ちなみに、日本における傘の年間販売数は約13000万本で世界一です。この内、過半数をビニール傘が占め、傘の所有数は全国平均で一人当たり3.6本、そのうちビニール傘は、1.6本です。

トップは東京都(4.1本)、第2位が神奈川県(3.9本)、第3位が京都府(3.8本)であり、第47位は鳥取県(2.1本)です。購入数では、第1位が東京都(0.9本)、第2位と3位は、福岡県(0.8本)、神奈川県(0.8本)となり、47位は岩手県(0.3本)です。

これには降水量にも影響され、公共交通機関を

利用する地域では高く、自家用車に乗る地域では低くなるそうで、上皇后・美智子様が使用する「縁結(えんゆう)」というビニール傘は8640円と高価ですが、欠品する程の人気ぶりだそうです。

そして「雨漏りの点検の日」でもあります。梅雨のシーズンを前に、建物の雨漏りの点検をする日という事で、1997年4月「全国雨漏り検査協会」により制定されました。この日は「入梅」になる事が多く、「傘の日」にちなんで制定されました。検査方法は、紫外線に青く光る検査液を使い、雨漏りを発見しているのだそうです。

さて、今期の例会も今日を入れて3回となり、毎週「会長の時間」の原稿を考えるのに、この一年間は土曜に調べ物をし、もう日曜日になったのかと一週間がとて早く感ますが、ゴール直前の今は、振り返ると一年間がとて長く感じています。

昨年のPETSにて、会長の時間は「世間の話題、政治や経済問題、或いは趣味に関する話題」は好ましくなく、「クラブやロータリーの活動や情報」について行い、皆様の参加意識と意欲が高まるような話をすることに頑張って頂きたいという研修を受けました。

考えますと、「会長の時間」は改めて会長の特権なのだという事に気付き、毎週毎週、皆様に語りかける大切さを痛切に感じる経験を致しました。

先週、次年度へ引き継ぎの理事会があり、地区カレンダーも次年度に向けて多くなり、いよいよ横溝年度に向けて動き出しました。次週のクラブ協議会で、今年度総括、反省会となり、ご出席をお願い致します。

結びですが、本日は、ゲスト卓話として伊藤農利夫様にお出で頂き、短い時間ですが、ロータリーの雰囲気を楽しんで頂き、またお忙しい所、卓話の依頼をお引き受け頂きました事に、感謝申し上げます。

<ハンブルグ国際大会報告>

取住会員

6月2日開催の国際大会本会議に参加してきました。ハンブルグは古い港町で、赤レンガ倉庫が立ち並ぶ商業都市といった感じです。

街には公共交通機関が無料になるロータリーカードを首に掛けたり、ロータリーのポロシャツを着た人も多くいて、エンドポリオやロータリー旗を掲げた建築や船も見かけました。会場は「ハンブルグメッセ」という倉庫が立ち並んだ見本市会場です。

今回は個人旅行で、日本人にはあまり会わなかったのですが、会場には多くの方がいて、第5グループの方にも2組位お会いしました。当地区ナイトは100人位集まったそうで、今大会の登録者は24,000人位とのことです。(紙面上、一部要約にて)



●事務局 〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3 相模原商工会館3F

TEL 042-758-5750 FAX 042-758-1605

●例会場 相模原市民会館「あじさいの間」 〒252-0239 相模原市中央区中央3-13-15 TEL 042-752-4710 FAX 042-753-2000

●E-mail: rotary@tb.g.t-com.ne.jp

<6月お祝>



〇ご夫人誕生日祝

・大槻 実ご夫人 6月4日・川合 貞義ご夫人 6月7日
・佐々木敏尚ご夫人 6月9日・大井 達ご夫人 6月18日

〇結婚記念日祝

・櫻内 康裕会員 6月25日

例会報告

1. 第2780地区ガバナー事務所より

①次年度米山学友会主催「クリーンキャンペン」ご案内

日時:7月7日(日)11時「片瀬江ノ島駅」集合

11:30~海岸清掃 13:00~バーベキュー

出席依頼者:次年度会長、幹事、米山奨学委員長

例会記録

点 鐘 12時30分

場 所 相模原市民会館「あじさいの間」

司 会 諸隈 武 副SAA

斉 唱 ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 中村 勝彦会員

ゲスト 伊藤 農利夫氏(JMAS)

出席報告

会 員	出席(出席対象31名)	事前メイク者
38名	25名	3名
欠席者	本日の出席率	修正出席率(5/28)
8名	77.78%	80.0%

●編 集 親睦活動委員会

委員長:伊倉 正光 副委員長:小崎 直利

委員:川合 貞義、田所 毅、櫻内 康裕

田後 隆二、中山 徹男、高本 昌敏

横江 利夫、山之内 洋、河野 崇

中村 勝彦、大槻 実、平山クリフォードモリス

●http://sagamiharana-rc.jp/